

事業名：後期高齢者健診推進事業

国保年金課 主査（国保健診）

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	02 健康づくりの推進								
基本事業	01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進								
開始年度	平成20年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者（65歳以上の一定の障がい者を含む）

手段（事務事業の内容、やり方）

被保険者の健康予防に必要な健康診査及び脳ドックを市内及び市外の医療機関等に委託して実施する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康診査等を実施することにより、疾病の予防につなげる。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	後期高齢者の被保険者	人	13,619	14,180	14,678	15,131
対象指標2						
活動指標1	受診者数	人	631	561	621	1,149
活動指標2						
成果指標1	健康診査受診率	%	4	4	4	7
成果指標2						
事業費(A)		千円	3,373	3,028	4,380	7,888
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	3,774	3,429	4,771	8,279

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	・市内医療機関等に委託して、被保険者に必要な健康診査の実施 ・5か所（市内3機関、市外2機関）の医療機関に委託して、被保険者が必要とする脳ドック検診の実施	・需用費（印刷製本費） 416千円 ・委託料（国保連費用決済） 2,719千円 ・使用料（システム回線） 33千円 ・負担金（脳ドック受診料） 1,212千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査は平成20年4月に後期高齢者医療制度の開始に伴い、北海道後期高齢者医療広域連合の委託を受けて道内全市町村が実施 ・脳ドックは平成25年度から実施。平成20年3月以前は老人保健法による加入健保が実施する脳ドック検診を受診できたが、平成20年4月以降は受診機会が無くなり、後期高齢者の脳疾患の早期発見早期治療のため実施。 	
事業を取り巻く環境変化	
<p>全国的な人口減少や少子高齢化が急速に進む中、地域社会のつながりが弱くなっている。健診の受診率を向上させるため、団塊の世代が高齢期を迎え多数の方が自治会の中心になりつつあることから、この経験豊富な知識と技術を有する方と連携して、健診事業の推進を行うことは有益である。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）													
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？													
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由根拠 → 全国的に高額な北海道の高齢者医療費を適正な額に抑制する。												
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？													
<input type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由根拠 → 医療費が抑制されることによって、高齢者医療保険料が抑制される。												
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？													
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由根拠 → <p>すでに病院等で治療中の被保険者が多い。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>入院</td> <td>15,805件</td> <td>(月平均 1,317件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入院外</td> <td>230,730件</td> <td>(月平均19,227件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歯科</td> <td>26,479件</td> <td>(月平均 2,200件)</td> </tr> </table>	平成25年度	入院	15,805件	(月平均 1,317件)		入院外	230,730件	(月平均19,227件)		歯科	26,479件	(月平均 2,200件)
平成25年度	入院	15,805件	(月平均 1,317件)										
	入院外	230,730件	(月平均19,227件)										
	歯科	26,479件	(月平均 2,200件)										
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？													
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由根拠 → 通院治療とは別に総合的な健診を受けることにより疾病の早期発見・早期治療につながり高齢者の健康意識を高める広報等での周知啓発の工夫を見直す必要がある。												
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？													
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠 → 健診に係る費用は自己負担を除く費用に対し北海道後期高齢者広域連合が負担する。												